

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	S46年～	根拠法令・例規等	勤労青少年福祉法、備前市リフレセンターびぜん設置条例、備前市勤労者センター設置条例
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室) 産業振興課 合 職・氏名 商工振興係長 隅谷淳就 先 電話 0869-64-2228 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	
	小項目	施策	29	勤労者福祉の増進	
事務事業名		01	勤労者施設管理運営事業		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市民及び市内勤労者	
目的(何のために)	市民及び市内勤労者に文化、研修、スポーツ等の活動の場を提供することにより勤労者の福祉増進に寄与する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	利用者数を増加させることにより、市民及び市内勤労者の福祉の増進に寄与する。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	リフレセンター管理運営事業	当該施設の指定管理者である備前市施設管理公社に対し、市民及び市内勤労者に文化、教養、研修、スポーツ等の活動の場を提供することにより福祉の増進に資することを目的として、リフレセンターびぜんの維持管理、利用業務等の運営を行っている。	◎
	目的を達成するための実施した事業	勤労者センター管理運営事業	当該施設の指定管理者である備前市施設管理公社に対し、市民及び市内勤労者に文化、教養、研修、スポーツ等の活動の場を提供することにより福祉の増進に資することを目的として、勤労者センターの維持管理、利用業務等の運営を行っている。	○

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストから効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	17,749	17,746	20,625
	必要人員	人	0.05人	0.02人	0.04人
	必要人員	人	479	144	317
	事業費	千円	18,228	17,890	20,942
財源	国庫支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
その他()					
一般財源		18,228	17,890	20,942	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	結果指標	量	2施設の年間延利用者数		
	対前年	%	50,228	60,435	48,657
	活動コスト	円	18,228,000	17,890,000	20,942,000
単位当たりコスト		363	296	430	

成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
施設の利用者数(延べ人数)	目標値(A)	60,000	60,000	60,000	60,000
	実績値(B)	50,228	60,345	48,657	到達目標値
	達成率(B/A)	83.71%	100.58%	81.10%	60,000

成果指標設定の考え方・式や説明

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		有効性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		C

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H26年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況			○					
説明	指定管理期間(24年度～26年度)内であるため、現状維持となっている。							

総合評価		総合評価
平成18年度から導入した指定管理制度により、コスト削減を図ることができている。リフレセンターびぜんについては、独立行政法人雇用・能力開発機構との払い下げの特約があるため、平成33年10月未まで、現在の用途の変更は出来ないこととなっている。平成24年度についてはご当地グルメフェスタin備前や、自主事業のフリーマーケット等を実施したため利用者数が伸びている。また、勤労者センターは、払い下げの特約の6年間を経過しているが、年間延べ14千人強の利用者があるため、現状維持の方針を打ち出している。今後も、よりよい施設運営を心がけ、総利用者の増加と市民及び市内勤労者の福祉の増進を目指していくことにした。		総合評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高い

平成27年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性				○				
取組目標	平成27年度から3年間の指定期間で指定管理者制度が導入されるため、新たに協定を定めるにあたって見直しを行う。							

Action